

書名 項目	<h1>新しい社会 公民</h1>	2 東 書
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象などを捉えるために、1時間の学習課題を解決する「チェック&トライ」で学習内容を確実に定着できるようにしたり、「公民にアクセス」コーナーで、社会的事象などを捉えたりすることができるように工夫されている。 ○資料読み取り活用する技能を高めるために、「集める・読み取る・まとめる」などの「スキルアップ」コーナーを設定する工夫がなされている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○思考を整理するために、「ウェビングマップ」「マトリックス」「ステップチャート」など「思考ツール」が効果的に使用されている。 ○効果的な思考力・判断力・表現力を育成するため、「みんなでチャレンジ」など小集団における対話的な活動が行える場面が設定されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「探求課題」「章のまとめ」の設定により、一貫した学習ができる工夫がなされている。思考ツールの効果的な活用も工夫されている。 ○SDGsで示されるように、持続可能な社会を実現するために解決すべき課題を適宜取り上げ、学習内容と関連付けて考察できるような工夫がなされている。 <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元を貫く課題の設定→1授業における問いの設定→「チェック&トライ」を用いた課題解決→章末での単元を貫く課題の解決という一連の流れが工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○掲載されている資料が大きく見やすくなっている。 ○巻末の法令集では、憲法や法令が記載されているとともに、難しい語句においては注釈を付けるなどの工夫がなされている。 ○URLやQRコードが掲載されていることで、教科等横断的な視点でより深い学びにつなげることができる工夫がなされている。 ○学習内容をさらに深めるために「公民にアクセス」や「もっと公民」のコーナーが設定されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○資料は見開きごとのまとまりで、通し番号で記載され、本文の上にも対応する番号を付している。 ○UDフォントが採用され、資料の欄も色で分けられるなど、見やすい工夫が施されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○一つの章において、探求課題の提示からまとめまで見通しをもって学習できるようになっている。「みんなでチャレンジ」などのコーナーを通して、生徒が課題解決に主体的に取り組み、多面的・多角的に見方や考え方を広め、社会参画する態度を養う工夫がされている。 	

書名 項目	<h2 style="text-align: center;">中学社会 公民 とともに生きる</h2>	<div style="text-align: center;">17 教 出</div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○「学習課題」での見通し、「確認」「表現」でのまとめや振り返りの工夫で、学習事項の定着が図られるようになっている。 ○「公民の技」コーナーが10箇所設定され、効果的にグラフや資料を読み取る技能が身に付けられるように工夫されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「読み解こう」や「Q」コーナーが設けられ、地図やグラフなどの資料を読み取って考察する学習活動ができるようになっている。 ○「言葉で伝え合おう」において、シミュレーションやプレゼンテーションなどの活動で、「裁判员裁判に参加したら」や「町づくり提言」など思考力や表現力を効果的に育成する内容となっている。 ○各章末の「学習のまとめと表現」では、資料を基に考えを説明したりまとめたりすることにより、社会に対する見方や考え方を深める工夫がなされている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○導入場面において、学習の手がかりとなる「LOOK！」や吹き出しがあり、意欲・関心が高まるよう工夫されている。 ○「公民の窓」コラムにおいて、本文内容から視点を変えたり視野を広げたりする内容を取り上げ、多面的・多角的見方が身につけられるようにしている。 ○「読んで深く考えよう」の設定により、日本のこれからに関する6テーマについて資料を読み深め、社会参画の意識を高める工夫が施されている。 </p> <p> <課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○学習内容の整理ができるように、「学習のまとめと表現」を用いて、章全体の課題の探求や解決に向けた取り組みを効果的に進められるような工夫がなされている。 </p>	
資 料	<p> ○「まなびリンク」からウェブでの情報収集ができるようになっていて、学習効果が高められる工夫がなされている。 ○「公民の窓」「読んで深く考えよう」の設定により、学習内容をより探求することができるようになっている。 </p>	
表記・表現	<p> ○資料は見開きごとのまとまりで、通し番号で記載され、本文の上にも対応する番号を付している。 ○配色やUDフォントの工夫により、すべての生徒が学びやすい工夫がなされている。 </p>	
総 括	<p> ○各章のはじめに「学習課題」を提示することで、生徒が課題意識をもって学習に取り組むことができる工夫がなされている。また、思考ツールの効果的な活用で、思考力・判断力・表現力を高めることができるよう工夫されている。 </p>	

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して</p>	<p style="text-align: center;">46 帝 国</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○導入から学習課題の提示、本文、学習内容を振りかえる「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化され、学習内容の基礎的・基本的な内容の確認や定着を図ることができる構成である。 ○「技能をみがく」では思考ツール等の技能が紹介されていたり、資料活用の問いが設定されていたりと、効果的に技能を身に付けることができる工夫がされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○見開き右下の「確認しよう」「説明しよう」において、毎時間の学習内容を活用して説明することで思考し、表現する問いが設けられている。 ○現代社会での探求課題に迫る「アクティブ公民」により、課題について見方・考え方を働かせながら、自分の意見を説明したり話し合ったりすることで、思考力・判断力・表現力が高められる工夫がなされている。 ○単元を貫く課題について、章末の「章の学習を振り返ろう」において、単元を貫く課題について、考えを整理したり、意見交換したりするまとめの機会が設定されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○章のはじめには、イラストを効果的に用いることで学習内容が概観できるような工夫がされている。 ○「章の学習を振り返ろう」では、自分の考えを他者と交え、より生徒自身の考えを深めることができるよう工夫されている。</p> <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○実社会における課題を設定する「アクティブ公民」が掲載されている。課題解決に向けて、グループ学習などを通して合意形成を図ったり、課題に対して探求的な見方を養ったりすることができる工夫がある。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○二次元コードの活用により、PCなどの機器を利用して資料の閲覧など学習効果が高められるよう工夫されている。 ○「公民プラス」や「未来に向けて」の設定により、さらに学習理解を深めることができるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○UDフォントの採用や、図版が色に囲まれていたり、資料における配色を工夫していたり学びやすい工夫がある。 ○本文の記述についての参照ページや参照資料の図番号などが設けられ、資料の活表を促す構成である。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○単元を貫く「章の問い」に対して社会的見方・考え方を働かせて考え課題解決的な学習ができる構成となっている。 ○「公民プラス」で実社会に即した内容が25テーマ提示され、より学習内容を深く理解できたり、「アクティブ公民」において、様々な視点に立って合意形成したりするなど社会参画していく上で必要な態度を養う工夫がある。</p>	

書名 項目	<h1>中学社会 公民的分野</h1>	116 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">日 文</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章のはじめには「学習のはじめに」として、学習課題の解決に向けての手がかりとなる見方・考え方の例を示し、学習理解を深められるよう工夫されている。 ○情報の読み取りとして「情報スキルアップ」や、思考ツールを用いた「シンキングツール」の活用もあり、社会的事象等について調べ、まとめる技能を高めていけるよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「アクティビティ」や「チャレンジ公民」を通して、思考力・判断力・表現力を高めたり、社会生活での課題について考えを深めたりすることができるような機会が設定されている。 ○「深めよう」コーナーで、学習課題の理解を深めるために、見方・考え方を働かせたりする問いを示している。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入部分に漫画が用いられ、全体を概観できる仕組みが取られている。また、内容の見通しをもって学習に取り組むことができる工夫がされている。 ○身近な地域の抱える課題を考える活動や、将来について想像を膨らませて、社会に参画する手がかりとなる「明日に向かって」が提示されている。 <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各1時間単位の活動として、「学習課題」や「見方・考え方」を示されている。 ○「アクティビティ」や「深めよう」の活用で、学習内容の深まりや課題探求の機会が設定されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末の法令集には、重要語句に下線を引き、注釈を付けることで解説や補足説明がされている。 ○「公民アクティビティ」や「公民+α」などにより、学習の理解を深めたり発展して考えたりする内容が盛り込まれている。 ○学習内容を深めるために「デジタルマーク」が掲載されるなど、資料や補助的動画などを閲覧することができるようになっている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書全体にUDフォントが採用されていたり、図や資料における配色が見やすくなっていたりと工夫されている。 ○資料や図版を示すことで、「見方・考え方」の視点を示す工夫がされている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○各章の導入やまとめなど、学習全体を見通すことのできる内容になっており、課題解決に向けた見方・考え方の提示により、多面的・多角的に考えを深めることのできる工夫がある。 ○「明日に向かって」では学習内容と身近な課題を関連付けることで、主体的に社会参画する態度を養うように工夫されている。 	

<p>書名 項目</p>	<h1>新しい公民教科書</h1>	<p>225 自由社</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○各章末に「学習のまとめ」が設定され、学習内容の確認と定着を図ることができるようになっている。 ○単元最後の「ここがポイント！」で、学習内容の確認事項がコンパクトに示されている。 ○「やってみよう」では、資料から調べまとめる技能を高め、より探求的に課題解決へ向かうことができるような設定がされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「アクティブに深めよう」では、課題に対して考察することで、歴史的文化的背景等について学びを深めることができるようになっている。 ○思考力・判断力・表現力を育成するため、章末にはテーマを選択し調べまとめる「学習の発展」が設定されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「学習のまとめと発展」では、学習事項の内容を発展させるためのテーマが設定され、既習事項との関連性も確かめることができるようになっている。 ○探求的な学習に迫るため「もっと知りたい」という特設のページが適宜設けられている。</p> <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○はじめには「学習課題」が提示され、終わりには「ここがポイント！」が示され、基礎的・基本的な内容の定着を学習過程を通して図るよう工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○本文に「→p○○」と書かれ、関連事項が分かるようになっている。また、側注に「ミニ知識」として補足説明が掲載されている。 ○巻頭における「世界に誇る日本の先端技術」や巻末における「日本の伝統工芸品」の特集が生まれ、我が国の理解が深まるような工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○教科書の重要語句にはゴシック体が採用されている。 ○関連項目が複数示されているなど、公民分野のつながりを意識した学習ができるよう工夫されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○各章の最後にある「学習のまとめと発展」では、各単元の最重要語句を示し、基礎基本の定着が図れるようになっている。 ○「ミニ知識」コラムで本文に関連する言葉について詳しく説明されていたり、「もっと知りたい」の中で、実社会で課題とされていたりする内容について身近な物として深く学習することができ、考察できるように工夫されている。</p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">[最新] 新しいみんなの公民</h1>	227 育鵬社
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○各章の導入部分には「学習の入り口」として、学習内容を概観するための言語活動が示されている。また各章の章末には「学習のこれから」として、実社会に対する課題について考察することで、学習理解を深められるよう工夫されている。 ○「スキルアップ」として、発表や議論の仕方やK J法などの技能を高めるためのツールを生かす工夫がある。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○生徒自身でまとめることのできる鉛筆マークや、社会全体の課題について考察やディベート活動につなげる「やってみよう」が設定され、多面的・多角的にとらえられる工夫がある。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻頭に「学習の入り口」と巻末に「学習のこれから」を設定させることで、単元を通して公民として学ぶべき内容を捉えることができる。 ○章全体を概観する工夫で見通しをもった学習を展開できることや、章末における探求的な課題により、主体的に社会参画する態度を育成することができるようになっている。 </p> <p> <課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○伝統や文化、宗教や人権、領土問題に関わる内容を取り上げることで、実社会の課題に即した内容を学習して、課題解決を追究する取組ができるようになっている。 ○導入資料や写真・図版の工夫により、学習課題を追究して解決へと導く学びの工夫がある。 </p>	
資 料	<p> ○写真や資料などを大きく掲載することで、効果的な学習支援をしている。 ○多彩な地域事例を提示することで、学習内容と関連付けて学ぶことができるようになっている。 ○「学習を深めよう」における探求的な学習の工夫や、「TRY」での発展的な学習の視点を示す工夫など、より効果的に進めることができるようになっている。 </p>	
表記・表現	<p> ○本文中には、資料との関連を示す番号が付され、前出・後出箇所との関連を示す参照ページが、「→p00」の形で示されている。 ○図版は判別しやすい配色にするなど、すべての生徒が見やすいよう工夫されている。 </p>	
総 括	<p> ○教科書の初めには、「なぜ公民を学ぶのか」という題で概念図が掲載されている。二次元的な視点で学習の意義について捉えることができるようになっている。 </p>	